

料金後納

ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などでご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要とされる地元でのお役立ち企業を目指しております。

東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。
代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

増加する豪雨災害への対処

近年、地球温暖化の影響とみられる豪雨災害が頻発しており、企業にとって大きなリスク要因となっています。被害を受けた場合、事業継続が困難になるだけでなく、多額の復旧費用が発生する可能性があります。毎年、この時期になると建物被害や点検等で多くの依頼を頂きますが、事前に計画しておけばリスクを軽減できたような事例も多く見受けられます。豪雨災害に対する自社の課題や対策方法については、都度整理し社内で情報共有しておくことが重要です。

●保険の活用と保険料の管理

豪雨災害に備えて適切な保険に加入することが重要ですが、財政的に保険料の負担が過大になりすぎる場合があります。保険料の見直しや、代替となるリスク軽減策の検討が必要です。

●事業継続計画の策定（BCPの策定）

災害時に事業を継続できるような計画を策定することが重要です。特に、代替の業務場所やデータのバックアップ、通信インフラの確保などが必要です。

●災害時のリスクコミュニケーションの強化

従業員や取引先、顧客との適切な情報共有が重要です。情報の透明性と速やかなコミュニケーションが、リスク軽減につながります。

●インフラの強化と定期的な点検

豪雨によるインフラの被害を最小限に抑えるため、建物や設備（排水設備・止水板）の見直しなど、耐久性向上させる対策を取ることが有効です。また、定期的な点検とメンテナンスを行うことも重要です。

●地域社会との連携と協力体制の構築

地域の他の企業や地域自治体と連携し、災害時の支援や情報交換、共同でのリスク対策の検討を行うことが有効です。地域全体での協力体制を築くことで、災害に対する強固な防衛を図ることができます。

ZEB 化実証ショールームいよいよ OPEN!!

省エネ建築設備投資で持続可能な経営戦略を支援する一幸建設の新たなソリューション、築32年のオフィスビルが長寿命化+省エネZEB化を実装して生まれ変わりました。既に新事業の業務を開始しておりますが、第8回事業再構築採択補助事業として、交付申請の差戻し対応中のため、一般へのお披露目が若干遅れております。8月～9月頃には内覧会を行ない、その後も定期的にセミナーを開催していく予定でおります。

[ZEB化リフォームによる既存建築物の有効活用事業]
一幸建設事業再構築への道⑨



地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！

※ニュースレターがご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

不動産トラブル相談

ここ最近、不動産のご相談を受けることが増えてきました。金額が知りたい査定ということではなく、相続をしたけどどうしたら良いかわからない、親戚に貸しているけど話し合いがうまくいかない、親が入院して空き家になっているけどどうすれば良いかわからないなどという内容です。

売買をするのは、土地や建物といった不動産になりますが、その物件に関わる親族の方、隣地の方、その他ご関係者など不動産にはたくさんの方が関わります。その調整を行わないと不動産の売却や活用には至らない場合が多く、査定をして売却をし始めるまで長く時間がかかることがあります。場合によっては1年以上対応させていただいている案件もあります。

特に親族の方と事情によりしばらく話をしていないという場合には、なかなか物事がうまく進まないことがあります。

ご実家の売却となれば、それだけ思い入れもあることがあります。単純に売却して良いという訳ではなく、それぞれにご家庭の背景があるため、時間がかかることがあります。



税金の特例、売却の方法など金額的には有利になることがあったとしても、話を進めるには時間がかかり、特例を受けることができなくなることもあります。

不動産仲介として仕事をさせていただいていますが、弊社では様々な状況に対応させていただいています。専門の方にもご意見をいただきながら、なるべく良い方向に物事が進むよう少しでもお手伝いできればと思います。

建築不動産営業 筒井

キッチンを選ぶ基準

LIXIL リフォームショップに加盟している弊社ですが、タカラスタンダードやTOTO、クリナップなどLIXIL製品以外も扱っています。今回ウッドワンのキッチンをお選びのお客様の工事が完了しましたので、竣工写真を撮りに行ってきました。



ウッドワンの『スージー』は無垢の木で作ったキッチンです。ニュージーパインはナチュラル色ですが、使い込むほどにしっとりとした落ち着いた色に変わってきます。「経年美化」と呼ばれているそうです。置かれた環境によって色の変化も様々で「わがやの色」に変わっていくのは楽しみですね。施工事例を公開しましたら、またお知らせします。

キッチンに限らず住宅設備を選ぶ際は、何を優先するかで決まってきます。機能・価格・サイズ・デザイン・使いやすさ・収納力・材質。メーカーによって得意とするところが違いますので、比較してみてください。気になるメーカーがあれば、ショールームに行ってみると面白いと思います。中には実体験できる施設を持つところもあります。豊橋にも数社が展開していますが、岡崎・名古屋・浜松に足を伸ばすと選択肢も増えます。決められないという方には、弊社からのご提案もできますので、ご希望にあった設備を見付けるためにも遠慮なくご相談ください。